

## 2022年7月31日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

後	祝	頌	献	会衆賛美	説	聖書朗読	使徒信条	礼拝祈祷	交	主の祈り	会衆賛美	会衆賛美	前	7月31日
報告	奏	栄	金	聖歌202	教	詩編46編1節〜11節	詩編46編1節〜11節	詩篇5篇1〜6節	詩篇5篇1〜6節	鹿のように(1回)	聖歌36	聖歌36	奏	聖日礼拝
感謝祈祷		聖歌376		石田敏則牧師	大いなる神								招詞	
													ヨハネ6章35節	
													「わたしがいちのちのパンです。わたしの	
													もとに来る者は決して飢えることがな	
													く、わたしを信じる者はどんなとき	
													も、決して渴くことがありません。」	
													アーメン	

### ■聖歌36「ながまことは大いなり」

- ①ながまことは大いなり 頼む神は君のみ  
変わらぬ なが愛の手に 支えらるる命ぞ

※ながまことは大いなれば 朝(あした)ごとに ほめうとう  
恵み日々に豊かなり 御顔(みかお)つねに さやけし

- ②季節ごとに花ひらき 星は空の道ゆく  
御神(みかみ)の手の くしわざを もの みな ほめ歌えり

- ③罪赦され 安きうけ 導き得て 喜び  
ちからに満ち 悪に勝ち 糧(かて)は つねに ゆたけし

### ■鹿のように

谷川の流れを慕う 鹿のように 主よ わが魂 あなたを慕う  
あなたこそ わが盾 あなたこそ わがちから  
あなたこそ わが望み われは 主を仰ぐ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名<sup>み</sup>をあがめさせたまえ。御国<sup>みくに</sup>をきたらせたまえ。御心<sup>みこころ</sup>の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用<sup>にちよう</sup>の糧<sup>かて</sup>を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

## ■交読 詩篇5篇1～6節

- 1 私のことばに耳を傾けてください。主よ。  
私のうめきを聞き取ってください。
- 2 私の叫ぶ声を耳に留めてください。  
私の王私の神私はあなたに祈っています。
- 3 主よ朝明けに私の声を聞いてください。  
朝明けに私はあなたの御前に備えをし仰ぎ望みます。
- 4 あなたは悪を喜ぶ神ではなくわざわいはあなたとともに住まないからです。
- 5 誇り高ぶる者たちは御目の前に立つことはできません。  
あなたは不法を行う者をすべて憎まれます。
- 6 あなたは偽りを言う者どもを滅ぼされます。主は人の血を流す者や欺く者を忌み嫌われます。"

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるもの とを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 詩編 46 編 1 節～11 節

- 1 神はわれらの避け所また力。苦しむときそこにある強き助け。
- 2 それゆえわれらは恐れない。たとえ地が変わり山々が揺れ海のただ中に移るとも。
- 3 たとえその水が立ち騒ぎ泡立ってもその水かさが増し山々が揺れ動いても。セラ
- 4 川がある。その豊かな流れは神の都を喜ばせる。いと高き方のおられるその聖なる所を。
- 5 神はそのただ中におられその都は揺るがない。神は朝明けまでにこれを助けられる。
- 6 国々は立ち騒ぎ諸方の王国は揺らぐ。神が御声を発せられると地は溶ける。
- 7 万軍の主はわれらとともにおられる。ヤコブの神はわれらの砦である。セラ
- 8 来て見よ。主のみわざを。主は地で恐るべきことをなされた。
- 9 主は地の果てまでも戦いをやめさせる。弓をへし折り槍を断ち切り戦車を火で焼かれる。
- 10 「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」
- 11 万軍の主はわれらとともにおられる。ヤコブの神はわれらの砦である。セラ

■聖歌 202 『み神は城なり』

1 みかみはしろなり たてなりぶきなり  
あくにかたしむる つよきたすけなり  
としをへたる くらきのおさ  
ひじゅつつくし せめきたるも  
などかおそるべき

2 われらのちからは よわくたよりなし  
されどえらばれし 神のひとぞある

そはたれぞや ばんぐんの主なる  
キリストイエス かちをえたもう  
ゆいいつの神なり

3 あくまよにみちて よしやおどすとも  
われらはおそれじ 神はみかたなり

このよのきみ すごみかおに  
せまりくとも なにかはあらん  
かちはさだまれり

4 みかみのことばは まえにすすむなり  
われらのうちには きよきみたまあり

このいのちも たからもなも  
こらもつまも ささげまつらん  
神のくにのため

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず  
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

## 【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう  
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう  
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」